

[総会資料と決定事項]

日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成 13 年 5 月 20 日（日）午後 2 時からホテルニュー神田（東京）にて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）と主な決定事項を報告する。

（社）日本透析医会通常総会資料

- I 平成 12 年度事業報告書
- II 平成 12 年度収支決算書
- III 平成 13 年度事業計画書（案）
- IV 平成 13 年度予算（案）

平成 13 年度通常総会での主な決定事項

（社）日本透析医会通常総会議事録

（社）日本透析医会役員名簿

(社) 日本透析医会通常総会資料

[第1号議案]

I 平成12年度事業報告書

第1 会議

1. 総会

平成12年度通常総会

平成12年5月21日 第1号議案	平成11年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
第2号議案	平成12年度事業計画及び予算の承認を求める件
第3号議案	定款の変更及び諸規程の施行等について承認を求める件
第4号議案	理事の辞任に伴う新理事の改選の承認を求める件
第5号議案	その他

2. 理事会

平成12年5月21日

協議事項

1. 平成12年度通常総会提出議案について

第1号議案	平成11年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
第2号議案	平成12年度事業計画及び予算の承認を求める件
第3号議案	定款の変更及び諸規程の施行等について承認を求める件
第4号議案	理事の辞任に伴う新理事の改選の承認を求める件
第5号議案	その他

2. その他

報告事項

1. 会員の入・退会者について
2. その他

3. 常務理事会（常任理事会）

1. 平成12年4月15日

協議事項

1. 特定公益増進法人の申請について
 - ① 第12回日本急性血液浄化学会
 - ② 第45回日本リウマチ学会総会
 - ③ 日本サイコ・ネフロロジー研究会
2. DOQIについて
3. 総会資料について
4. 全腎協全国大会後援名義使用許可について
出席及び祝辞依頼（会長宛）
5. 東腎協第28回総会開催案内について「祝電または挨拶依頼」

6. 平成 12 年度各種委員会について
7. 平成 12 年度 HLA 助成事業の実施について（東京都）
8. 「腎不全治療マニュアル」誌の表紙等について
9. 日本腎不全看護学会平成 12 年度会費の納入について

報告事項

1. 平成 11 年度会計監査の実施結果報告について
2. 有珠山火山活動による透析施設等の状況について
 - ・近況報告及び国会質問について
3. 国家公務員倫理法の施行について
4. 厚生省内部部局等の庁舎仮移転について
5. 常務理事会及び広報委員会議事録について〈3月11日（土）実施〉

2. 平成 12 年 5 月 21 日

協議事項

1. 平成 12 年度通常総会の開催について
 - (1) 平成 11 年度事業報告及び収支決算について
 - (2) 平成 12 年度事業計画及び予算について
 - (3) 定款の変更及び諸規程の施行等について
 - (4) 理事の辞職及び後任理事の改選について
 - (5) 理事会及び総会議事録の署名人について
 - ・小出理事
 - ・秋葉常務理事
 - (6) 定款等の変更承認申請書について

報告事項

1. 浜松における透析関係 C 型肝炎発症報道記事について
2. 常務理事会議事録

3. 平成 12 年 6 月 14 日 危機管理委員会医療事故対策部会合同（臨時）

協議事項

1. 透析医療事故検討・防止対策等について

特記事項

1. 臨床工学技士会との合同会議

4. 平成 12 年 7 月 19 日

協議事項

1. シンポジウム等講演者の原稿料の取り扱いについて
2. 非会員の委員会への招へいに係わる取り扱いについて
3. 入会案内をホームページに掲載する件について
4. 東京都衛生局による「人工透析関係資料」作成のための本会会員名簿利用について
5. 厚生科学研究推進委員会要綱の施行について
6. マニュアル収載許可依頼について

報告事項

1. 秋澤忠男先生から東金病院院長あての書簡について
2. 厚生科学特別研究 9 月申請予定分の変更について

3. 会計検査院指摘事項について
4. 2000年全腎協全国大会の礼状について
5. 透析室内における医療事故防止についての要望書
6. 医療過誤損害賠償関係の質問の取り扱いについて
7. 常務理事会議事録について（5月21日実施）
8. 常任理事会設置規程・学会等助成審査委員会規則
9. 定款変更認可進捗状況及び定款変更手続について
10. 平成12年度シンポジウム連絡事項について

その他

1. 年会費・会員数等について〈6月30日現在〉

《学会等助成審査委員会》

特定公益増進法人の申請について

第34回日本消化器画像診断研究会（開催 平成13年2月23日）

5. 平成12年9月9日

協議事項

1. 臓器不全対策推進功労者厚生大臣感謝状贈呈候補者の推薦について
 - (1) 平成12年度臓器移植普及推進月間の主催及び臓器移植推進国民大会の後援について（依頼）
2. 厚生科学研究推進委員会要綱の施行について（継続）
3. 後援名義使用許可について
 - (1) 第17回腎不全対策を語るつどい（開催 平成12年9月10日）
4. 災害時の食事成分の統一数値について（依頼）

報告事項

1. 都立駒込病院透析患者死亡事故について
2. 東金病院事故調査報告書（千葉県）に対する当会の評価について
3. 研修委員会について（議事録）
 - (1) シンポジウム等の抄録字数について 400字×2枚
 - (2) 第13回日本透析医会シンポジウムのプログラムについて
（訂正）講演5. 大阪市立大学医学部 武本佳昭
透析液清浄度と膜構造→透析液清浄度の品質保証
4. 合併症対策委員会について（議事録）
 - (1) 定価1,000円を削除し、頒布価格（頒価）に切替
5. 平成12年度通常総会に係る届出及び申請等について
6. 厚生科学特別研究事業研究計画書の提出について

課題 透析医療事故の実態調査と事故対策マニュアルの策定
7. 医会雑誌への原稿掲載に係わる研修委員会との調整について
8. 公的機関が発行する事故報告書の取り扱いについて
9. レセプト分析調査（医療費実態調査）処理状況について
10. 大阪支部活動状況報告について
11. 千葉県健康福祉部からのFAXについて

12. 危機管理委員会医療事故対策部会議事録について

その他

1. 常任理事会議事録について
2. 年会費・会員数等について〈8月31日現在〉

6. 平成12年11月11日

協議事項

1. 日本臓器移植ネットワークからの財政支援要請について
2. 財団法人アジア女性基金からの募金要請について
3. 日本赤十字社社債の募集について

報告事項

1. 臓器不全対策推進功労者厚生大臣感謝状贈呈について
10月23日(日)大阪国際会議場
・中央推薦(大分県 工藤寛昭先生)
・地方推薦(山梨県 三井 静先生)
2. 「腎不全対策を語るつどい」9月10日開催〈全腎協〉について
3. レセプト分析調査(医療費実態調査)について〈中間報告〉
4. 東海地区集中豪雨被害義援金について
5. 福岡地区C型肝炎について

決 裁

1. 定款変更認可に伴う常任理事会設置規程の施行について

その他

1. 議事録(常任理事会・適正透析療法委員会・工臓協)について
2. 年会費・会員数等について〈10月31日現在〉

《学会等助成審査委員会》

審査事項

- ・第4回弥彦 Podocyte セミナーにかかる助成について

7. 平成13年1月13日

協議事項

1. 原稿料等の改定について

報告事項

1. あけぼのクリニック友の会「災害時透析食事成分」について
2. 千葉市のC型肝炎調査報告書にかかる検討打合せについて
3. 院内感染対策主管課長会議について
4. 肝炎対策に関する有識者会議について
5. 研修セミナーの開催について〈3月4日(日)〉
6. 介護保険利用状況調査報告書について

その他

1. 常任理事会議事録について
2. 広報委員会会議事録について
3. 適正透析療法委員会各部会合同会議議事録について
4. 医器工との話し合い議事録について

5. 年会費・会員数等について〈12月31日現在〉
6. その他関連事項

《学会等助成審査委員会》

審査事項

1. 第5回アクセス研究会（開催 平成13年10月28日～）
2. 第7回日本腹膜透析研究会（開催 平成13年11月10日～）

8. 平成13年3月3日

協議事項

1. 平成13年度通常総会関係資料について
 - (1) 通常総会議案について
 - (2) 平成13年度事業計画について
 - (3) 役員任期満了に伴う改選について
 - (4) 通常総会業務分担について
2. 厚生科学研究年度別実施計画
3. 原稿料等の改定について（継続審議）
4. 事務処理規則の改正について
5. 職員の任免について

報告事項

1. あけぼのクリニック友の会「災害時透析食事成分」について
2. 「第13回腎臓病を考える都民の集い」終了報告について
 - ・含 ポスター等の送付
3. ホームページの紹介（株）サンブックス等について
4. 後援名称使用許可依頼について（日本臨床工学技士会）
5. 第53回保健文化賞候補者の推薦について（協力依頼）
6. 腎不全予防医学調査研究委員会の新規企画について
7. ルアーロック小委員会との話し合いについて（2月21日）
8. その他関連事項

その他

1. 常任理事会議事録について
2. 腎不全予防医学調査研究委員会議事録
3. 適正透析療法委員会部会合同会議議事録について
4. 医器工との話し合い議事録について
5. 年会費・会員数等について〈2月28日現在〉
6. その他関連事項

決 裁

- ・常任理事会設置規程第6条施行の処理について
- ・厚生労働省所管公益法人の総点検について（回答）

第2 委員会

平成12年度委員会開催状況

(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

委員会	開催年月日	備考
1. 適正透析療法委員会		
(1) 適正透析導入部会		
(2) 維持透析療法部会		
(3) 適正透析普及部会	平成12年04月09日	
(4) 適正医療経済部会	平成12年07月12日 平成12年07月20日 平成12年09月20日 平成12年11月29日 平成13年01月24日 平成13年02月21日 平成13年02月28日 平成13年03月28日	ワーキング／工臓協 ワーキング ワーキング（合同）／工臓協 ワーキング（合同）／医器工 ワーキング（合同）／医器工 ワーキング（合同）／医器工 ワーキング（合同）／医器工 ワーキング（合同）／医器工
(5) 医療廃棄物対策部会		
(6) 在宅血液透析部会		
(7) 医療制度検討部会	平成12年09月20日 平成12年11月29日 平成13年01月24日 平成13年02月28日 平成13年03月28日	適正医療経済部会との合同 適正医療経済部会との合同 適正医療経済部会との合同 適正医療経済部会との合同 適正医療経済部会との合同
2. 危機管理委員会		
(1) 災害時透析医療対策部会	平成12年06月17日	
(2) 感染症対策部会		
(3) 医療事故対策部会	平成12年06月14日 平成12年07月12日 平成12年08月09日	
3. 合併症対策委員会	平成12年09月01日	
4. 腎移植普及推進委員会		
5. 腎不全予防医学調査研究委員会	平成13年01月24日	
6. 研修委員会	平成12年08月29日 平成13年11月12日 平成13年03月04日	
7. 広報委員会	平成12年11月11日 平成13年03月14日	
8. 情報管理委員会		
9. 内規委員会		
10. 厚生科学研究推進委員会	平成12年04月23日 平成12年05月17日 平成12年05月24日 平成12年07月06日 平成12年08月09日	地域災害班会議 地域災害班会議 地域災害班会議 地域災害班会議 医療事故班会議

委員会	開催年月日	備考
10. 厚生科学研究推進委員会	平成 12 年 12 月 25 日	医療事故班会議
	平成 13 年 01 月 26 日	医療事故班会議
	平成 12 年 09 月 06 日	医療事故班会議
	平成 12 年 11 月 27 日	厚生科学研究推進委員会
	平成 12 年 11 月 29 日	厚生科学研究推進委員会
	平成 12 年 12 月 01 日	厚生科学研究推進委員会
	平成 12 年 12 月 13 日	医療事故班会議
11. 学会等助成審議委員会	平成 12 年 07 月 19 日	第 34 回日本消化器画像診断研究会
	平成 12 年 11 月 11 日	第 4 回弥彦 Podocyte セミナー
	平成 13 年 01 月 13 日	第 5 回アクセス研究会
	平成 13 年 01 月 13 日	第 7 回日本腹膜透析研究会
12. 倫理委員会		

平成 12 年度委員会報告

1. 適正透析療法委員会

(1) 適正透析導入委員会

透析導入者審査委員会設置支部（新潟・栃木・愛知）に助成した。

(2) 適正透析普及部会（平成 12 年度 1 回開催）

日 時：平成 12 年 4 月 9 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所：ホテルニュー神田

議 題：平成 12 年度診療報酬改定について

講 師：厚生省保険局医療課

課長補佐 厚生技官 新村 和 哉

(3) 適正医療経済部会（平成 12 年度 8 回開催）

1) 透析医療費の分析について検討を行い、平成 12 年 6 月分外来透析レセプト集計が行われ、報告については平成 13 年度日本透析医会雑誌 1 号及び 2 号において報告予定です。

2) 医会と医器工の合同によりルアーロック関係について意見交換された。

3) 透析施設基準検討委員会（W・G）について、5 回にわたり討議された。今後も引続き検討し、作業を進めていきます。

2. 危機管理委員会

(1) 災害時透析医療対策部会（平成 12 年度 1 回開催）

災害時情報ネットワークシステムの設立については、引き続き検討され支部あてに情報ネットワーク委員の選出の依頼をした。

(2) 医療事故対策部会（平成 12 年度 4 回開催）

厚生科学推進委員会と合同で透析施設における医療事故対策について活発に議論された。また、事故対策マニュアル作成についても検討した。

3. 合併症対策委員会（平成 12 年度 1 回開催）

平成 12 年度透析患者の合併症とその対策「透析患者の貧血」の発刊等について検討した。

4. 腎移植普及推進委員会

(1) 平成 12 年度腎普及推進月間及び第 15 回腎移植推進国民大会の助成を検討した。

- (2) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」を会員に配布した。
5. 腎不全予防医学調査研究委員会（平成 12 年度 1 回開催）
腎不全マニュアルの発刊について検討した。
（次回の発刊について新企画案を委員に依頼）
6. 研修委員会（平成 12 年度 2 回開催）
- (1) 学術研究に助成した。
- 1) 愛知県透析医会
研究課題：
「愛知県における血液透析患者の肝炎ウイルス抗体陽性率の経年的変化に関するアンケート調査ならびに、不測の肝炎罹患を予防する目的での地域的取り組みについての前向き研究」
- 2) 大阪府透析医会
研究課題：
「腎不全血清を用いた in Vitro 系における薬物の蛋白結合に影響を与える諸因子の研究」
- 3) 香川県透析医会
「維持透析患者における後天性嚢胞化腎に対するコントラストエコー法の診断能に関する検討」
- (2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

支 部 名	会 場	開 催 年 月 日
青森県透析医会	八戸市公民館ホール	平成 12 年 6 月 4 日
宮城県支部	宮城県医師会館	平成 12 年 12 月 3 日
愛知県透析医会	名古屋国際ホテル	平成 12 年 12 月 3 日
大阪透析医会	ガーデンシティクラブ大阪	平成 12 年 7 月 29 日
岡山県支部	岡山アークホテル	平成 12 年 7 月 1 日
鹿児島県透析医会	鹿児島城山観光ホテル	平成 12 年 6 月 3 日

- (3) (社) 日本透析医会シンポジウムを開催した。
「透析液の清浄度基準」
日 時：平成 12 年 11 月 12 日（日曜日）
午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所：津田ホール
司 会：秋澤忠男（和歌山県立医科大学）
鈴木正司（信楽園病院）
講演者：竹沢真吾先生（鈴鹿医療科学大学）ほか 5 名
出席者：250 名
- (4) (社) 日本透析医会研修セミナーを開催した。
透析医療における Current Topics 2001
日 時：平成 13 年 3 月 4 日（日曜日）
午前 9 時 30 分～午後 3 時 35 分
場 所：津田ホール
司 会：鈴木正司先生（信楽園病院）ほか 4 名
講演者：秋澤忠男先生（和歌山県立医科大学）ほか 4 名
出席者：120 名
7. 広報委員会（平成 12 年度 2 回開催）

- (1) 日本透析医会の企画・編集等について、上記2回にわたって、討議された。
- (2) 医会雑誌 Vol. 15 No. 1 発刊
 - 1) 日本版 DRG/PPS の現況と今後の見通し—腎臓内科領域について—
 - 2) 透析中止のガイドライン—不可避だが苦渋のジレンマ—
 - 3) 透析と劇症肝炎
 - 4) 兵庫県 B 型肝炎院内感染調査報告書
 - 5) 日本透析医会—最近の動向—
 - 6) シンポジウム
 - 7) 透析療法のクリニカルパス
 - 8) 虚血性心疾患の病態と治療：透析患者の特徴と管理
 - 9) 腹膜機能低下および腹膜硬化進展機序に関する研究—腹膜中皮細胞と AGEs の関連—
 - 10) 北海道における慢性血液透析患者用ブラッドアクセスに関するアンケート結果とその分析
 - 11) 透析医療機関実態調査について
 - 12) 第 3 回透析医療費実態調査報告
 - 13) 支部だより
- (3) 医会雑誌 Vol. 15 No. 2 発刊
 - 1) 透析診療報酬について
 - 2) 要介護透析患者の対応
 - 3) 千葉県立東金病院の医療事故に関する事故調査委員会報告書
 - 4) 研修セミナー
透析とウイルス肝炎
透析患者における結核の特異性
維持透析患者の MRSA 感染症
慢性血液透析患者のブラッドアクセス感染症
 - 5) 低栄養、炎症、動脈硬化と透析患者の長期生存
 - 6) 腎性上皮小体機能亢進症の病態と治療
 - 7) エンドトキシンカットフィルターの信頼性
 - 8) 透析患者とカルニチン代謝
 - 9) 新しい腎炎惹起物質 Megsin ならびに Carbonyl stress と腎疾患との関わり
 - 10) 平成 10 年度千葉県における透析医療機関の感染性廃棄物の現状に関するアンケート調査 (第 2 報)
 - 11) 日本透析医会通常総会資料および主な決定事項
 - 12) 支部だより
- (4) 医会雑誌 Vol. 15 No. 3 発行
 - 1) 透析施設における災害対策—病院の立場から—
 - 2) 透析施設における震災対策—診療所の立場から—
 - 3) 大災害時における透析医療活動マニュアル
 - 4) 岡山県における透析医療危機管理システム—岡山方式— (第 2 報)
 - 5) 災害時情報ネットワーク委員会記録
 - 6) C 型肝炎集団感染調査報告
 - 7) 大阪府における透析患者の結核発症状況
 - 8) 透析医療事故対策—東金病院事故を振り返って—

- 9) 糖尿病性腎不全
- 10) PTA によるシャント再建術
- 11) 透析管理とコンピュータ
- 12) 維持透析患者における酸化 LDL 分画を用いた酸化ストレスの検討
—ダイアライザーによる比較—
- 13) 高糖濃度下でのヒト腹膜中枢細胞と線維芽細胞における塩基性線維芽細胞増殖因子の役割と
prednisolone の効果について
- 14) 支部だより

II 平成 12 年度収支決算書

1. 収支決算書（平成 12 年 4 月 1 日から平成 13 年 3 月 31 日まで）

(単位：円)

科 目	平成 12 年 (案)	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 入会金収入	300,000	600,000	300,000	
2. 会費収入	73,000,000	75,184,000	2,184,000	
3. 寄付金収入				
助成協賛金	82,500,000	91,591,000	9,091,000	
助成金	0	0	0	
寄付金	0	2,190,000	2,190,000	
寄付金収入合計	82,500,000	93,781,000	11,281,000	
4. 会場収入	0	356,000	356,000	
5. 受取利息収入	150,000	349,037	199,037	
6. 雑収入	0	6,202,310	6,202,310	
当期収入合計 (A)	55,950,000	176,472,347	20,522,347	
前期繰越収支差額	47,900,000	77,216,522	29,316,522	
収入合計 (B)	203,850,000	253,688,869	49,838,869	
II 支出の部				
1. 事業部				
透析医療適正化事業費	17,111,015	8,460,505	-8,650,510	
地域透析医療システム事業費	18,154,045	14,684,845	-3,469,200	
腎移植普及推進事業費	8,044,240	6,569,445	-1,474,795	
腎不全予防医学調査研究費	7,633,230	6,659,320	-973,910	
研修等事業費	11,785,350	10,733,872	-1,051,478	
広報活動費	12,116,360	10,896,923	-1,219,437	
情報管理委員会	777,525	0	-777,525	
内規委員会	40,000	0	-40,000	
倫理委員会	777,525	0	-777,525	
その他の事業	90,903,710	109,735,389	18,831,679	
事業費合計	167,343,000	167,740,299	397,299	
2. 管理費				
人件費	9,580,000	11,895,237	2,315,237	
家賃	2,500,000	2,333,076	-166,924	
その他経費	9,105,000	9,395,573	290,573	
管理費合計	21,185,000	23,623,886	2,438,886	
3. 固定資産取得支出	2,000,000	0	-2,000,000	
什器備品購入支出	0	0	0	
固定資産取得支出合計	2,000,000	0	-2,000,000	
4. 予備費	2,000,000	0	-2,000,000	
基本財産組入額	0	0	0	
当期支出合計 (C)	192,528,000	191,364,185	-1,163,815	
当期収支差額 (A)-(C)	-36,578,000	-14,891,838	21,686,162	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	11,322,000	62,324,684	51,002,684	

2. 正味財産増減計算書（平成12年4月1日から平成13年3月31日まで）

(単位：円)

科 目	金 額		
I 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	-14,891,838		
資産減少額		14,891,838	
減少の部の合計			14,891,838
当期正味財産減少額			-14,891,838
前期繰越正味財産額			314,129,894
期末正味財産合計額			299,238,056

3. 貸借対照表（平成13年3月31日現在）

(単位：円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 流動資産			
現金預金	64,204,984		
仮払金	103,290		
流動資産合計		64,308,274	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	232,000,000		
基本財産合計	232,000,000		
その他の固定資産			
建物附属設備	0		
災害時システム設備	0		
什器備品	0		
電話加入権	563,372		
淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	6,913,372		
固定資産合計		238,913,372	
資産合計			303,221,646
II 負債の部			
1. 流動負債			
学会助成金預り金	1,550,000		
会費預り金	14,000		
所得税預り金	238,725		
住民税預り金	43,800		
厚生年金預り金	137,065		
流動負債合計		1,983,590	
2. 固定負債			
退職給与引当金	2,000,000		
固定負債合計		2,000,000	
負債合計			3,983,590

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅲ 正味財産の部			
正味財産			299,238,056
(うち基本金)			(232,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(-14,891,838)
正味財産の部の合計			299,238,056
負債及び正味財産合計			303,221,646

4. 計算書類に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、及び預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記(3)に記載するとおりである。

(2) 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定 期 預 金	232,000,000	0	0	232,000,000
合 計 (基本金)	232,000,000	0	0	232,000,000

(3) 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
現金預金	64,204,984
仮 払 金	103,290
合 計	64,308,274
学会助成預り金	1,550,000
会費預り金	14,000
所得税預り金	238,725
住民税預り金	43,800
厚生年金預り金	137,065
合 計	1,983,590
次期繰越収支差額	62,324,684

5. 財産目録（平成13年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	35,902		
郵便振替	795,839		
普通預金 東京三菱銀行神田支店	2,628,148		
住友銀行神田支店	615,844		
第一勧業銀行神田支店	239,299		
さくら銀行神田小川町支店	169,293		
あさひ銀行神田支店	11,720,659		
定期預金 東京三菱銀行神田支店	48,000,000		
仮 払 金	103,290		
流動資産合計		64,308,274	
2. 固定資産			
(1) 基本資産			
定期預金 東京三菱銀行神田支店	232,000,000		
(2) その他の固定資産			
電話加入権	563,372		
保証金 淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	6,913,372		
固定資産合計		238,913,372	
資産の部合計			303,221,646
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
学会助成金預り金	1,550,000		
年会費	14,000		
職員等に対する源泉所得税	238,725		
職員等に対する住民税	43,800		
職員等に対する厚生年金	137,065		
流動負債合計		1,983,590	
2. 固定負債			
退職給与引当金	2,000,000		
固定負債合計		2,000,000	
負債合計			3,983,590
正味財産			299,238,056

管理費内訳

給料	10,114,387	報酬(要源泉)	666,666
法定福利費	1,106,280	諸謝金	111,110
通勤費	674,570	水道光熱費	197,407
旅費交通費	343,988	家賃	2,333,076
会議費	51,339	諸会費	437,980
交際接待費	6,762	租税公課	5,000
福利厚生費	49,196	慶弔費	0
印刷製本費	552,173	雑費	515,549
通信運搬費	606,594	常任理事会費	171,320
消耗品費	1,350,938	総会・理事会費	1,488,551
委託料	2,841,000	合計	23,623,886

[第2号議案]

Ⅲ 平成13年度事業計画書(案)

事業計画の概要

1. 透析医療の適正化に関する調査研究事業

適正な透析療法の検討に関する調査・研究

適正透析療法委員会 [委員会のもとに7部会を置く]

* 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

(1) 適正透析導入部会

適正な導入時期に関する調査・研究

(2) 維持透析療法部会

適正な維持透析療法に関する調査・研究

(3) 適正透析普及部会

適正な透析療法の普及推進を行う

(4) 適正医療経済部会

適正な透析医療経済に関する調査・研究

1) レセプト分析 2) 施設機能評価の調査・研究 3) 透析医療経営実態調査

(5) 医療廃棄物対策部会

医療廃棄物対策に関する調査・研究

(6) 在宅血液透析部会

在宅治療(CAPD・在宅血液透析等)の適応基準の調査・研究

(7) 医療制度検討部会

医療制度における透析医療との関連に関する調査・研究

2. 地域医療システムに関する調査研究事業

透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

① 危機及び災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

危機管理委員会 [委員会のもとに3部会を置く]

(1) 災害時透析医療対策部会

ブロック別災害時救急透析医療システムの構築

(2) 感染症対策部会

院内感染実態調査及び感染防止対策の調査・研究

(3) 医療事故対策部会

医療事故実態調査及び事故防止対策の調査・研究

② 長期透析患者の合併症に対する調査・研究

合併症対策委員会

1) 透析導入の初発原因(原疾患・病因等)に関する調査・研究

2) 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究

3) 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

3. 国等公的機関の実施する透析医療科学研究推進事業

厚生科学研究推進委員会 [委員会のもとに1部会を置く]

* 平成12年度厚生科学研究については2課題を実施した。

・ 地域災害下における透析医療の実態調査と対応マニュアルの策定

- ・透析医療事故の実態調査と事故対策マニュアルの策定
- *平成13年度厚生科学研究計画（3課題申請予定）
 - (1) 厚生科学研究推進委員会透析医療IT化推進部会
長期透析に伴う合併症の克服に関する研究の推進
 - (2) 適正透析療法委員会適正透析普及部会透析施設基準検討WG
透析医療施設（室）の施設基準等のマニュアル策定に関する研究の推進
 - (3) 危機管理委員会医療事故対策部会
透析医療事故防止のための標準的透析操作マニュアルの効果と問題点に関する研究の推進
- 4. 学術研究会等公益増進法人助成推進事業
 学会等助成審査委員会
*学会等助成推進事業の拡大
*平成12年度は、7件の助成推進事業を実施した。
- 5. 腎移植普及推進に関する事業
 腎移植普及推進委員会
*会員及び患者に対しての協力・普及を目的とする。
 - 1) 臓器移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力
 - 2) 会員に対する腎移植の啓発・教育（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）
 - 3) 患者に対する腎移植推進事業（会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進協力）
 - 4) 関係団体への協力事業（医療施設や遺族に対するドネーションの啓発）
 - 5) 腎移植コーディネーター問題の研究
- 6. 腎不全予防医学の調査・研究事業
 腎不全予防医学調査研究委員会
*透析導入を予防し、残腎機能を維持させるための調査・研究
 - 1) 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究
 - 2) 関係団体への協力
- 7. 研修等事業
 研修委員会
 - 1) 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催
 - 2) 学術研究への協力
 - 3) 関係学会・団体との研究協力
 - 4) 国内講演会等の開催
- 8. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業
 広報委員会
*機関誌等の発行
 - 1) 医会雑誌（年3回発行）
 - 2) 医会ニュース
- 9. 会員の教育・研修及び倫理向上に関する調査研究事業
 倫理委員会
*会員の倫理向上に関する調査・研究
- 10. その他の事業
 情報管理委員会
*医会が行う各種のアンケート調査結果の管理運用

IV 平成 13 年度予算 (案)

[収入の部]

(単位:円)

区 分	平成 12 年度予算	平成 13 年度予算 (案)	増 減
1. 会費収入	73,000,000	74,000,000	1,000,000
2. 入会金収入	300,000	600,000	300,000
3. 寄付金収入	82,500,000	86,500,000	4,000,000
4. 受取金収入	150,000	300,000	150,000
5. 前年度繰越金	47,900,000	62,000,000	14,100,000
計	203,850,000	223,400,000	19,550,000

[支出の部]

(単位:円)

区 分	平成 12 年度予算	平成 13 年度予算 (案)	増 減
1. 事業費	167,343,000	176,650,000	9,307,000
2. 管理費	21,185,000	25,305,000	4,120,000
3. 予備費	2,000,000	2,000,000	0
4. 固定資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
5. 次年度繰越金	11,322,000	2,000,000	6,123,000
計	203,850,000	223,400,000	19,550,000

区 分	平成 12 年度予算	平成 13 年度予算 (案)	増 減
基本財産累計	232,000,000	232,000,000	0

支出の部内訳

(単位：円)

区 分	平成 12 年度予算	平成 13年度予算 (案)	%	増 減
I 事業費 (調査研究事業費)	167,343,000	176,650,000	100.0	9,307,000
1) 適正透析療法委員会	17,111,000	19,017,000		
(1) 適正透析導入部会	1,936,000	1,963,000	1.1	27,000
(2) 維持透析療法部会	1,440,000	1,438,000	0.8	-2,000
(3) 適正透析普及部会	2,533,000	2,589,000	1.5	56,000
(4) 適正医療経済部会	6,403,000	8,106,000	4.6	1,703,000
(5) 医療廃棄物対策部会	993,000	1,016,000	0.6	23,000
(6) 在宅血液透析部会	496,000	508,000	0.3	12,000
(7) 医療制度検討部会	3,310,000	3,397,000	1.9	87,000
2) 地域透析医療システム	18,154,000	24,650,000		
(1) 災害時透析医療対策部会	10,692,000	5,165,000	2.9	-5,527,000
(2) 感染対策部会		3,391,000	1.9	3,391,000
(3) 医療事故対策部会		3,391,000	1.9	3,391,000
(4) 厚生科学研究推進委員会		5,127,000	2.9	5,127,000
(5) 合併症対策委員会	7,462,000	7,576,000	4.3	114,000
3) 腎移植普及推進委員会	8,044,000	8,186,000	4.6	142,000
4) 腎不全予防医学調査研究委員会	7,633,000	11,890,000	6.7	4,257,000
5) 研修委員会	11,785,000	13,125,000	7.4	1,340,000
6) 広報委員会	12,116,000	12,057,000	6.8	-59,000
7) 情報管理委員会	778,000	776,000	0.4	-2,000
8) 内規委員会	40,000	40,000		0
9) 倫理委員会	778,000	776,000	0.4	-2,000
10) その他の事業	90,904,000			
(1) 学会助成費	90,904,000	86,133,000	48.8	-4,771,000
II 管理費	21,185,000	25,305,000		4,120,000
1) 人件費	9,580,000	12,850,000		3,270,000
2) 家賃	2,500,000	2,550,000		50,000
3) その他の経費	9,105,000	9,905,000		800,000
III 予備費	2,000,000	2,000,000		0
IV 固定資産取得支出	2,000,000	2,000,000		0
V 次年度繰越金	11,322,000	17,445,000		6,123,000
計	203,850,000	223,400,000		19,550,000

平成 13 年度通常総会での主な決定事項

平成 13 年 5 月 20 日（日）午後 2 時から通常総会が、東京のホテルニュー神田で行われた。平成 12 年度の事業報告と収支決算が第 1 号議案として提出され承認された。平成 13 年度事業計画と予算は第 2 号議案で、また、役員の任期満了に伴う新役員の改選承認が第 3 号議案として、さらに関連として顧問の新規加入の推薦があり、併せて承認された。

自由討論では、常任理事会の具体的な討論内容を提示することや第 3 号議案の新役員案決定への経過報告を求める意見が述べられた。総会の主な内容について、以下に要約したい。

事業報告について

平成 12 年 3 月末に北海道で有珠山が噴火し被災透析患者が転院や避難所生活を余儀なくされたことは、記憶に新しい。阪神大震災に次ぐ自然災害であった。平成 12 年度に報道された院内感染事故は、岩手県で 1 件・静岡県で 2 件・福岡県で 1 件・千葉県で 1 件の計 5 件にも及んだ。また、医療事故が平成 12 年 5 月に千葉県の県立病院で発生し回収ミスによる空気塞栓で透析患者が死亡した。11 月からは、厚生省（現厚生労働省）も肝炎対策の有識者会議を私的諮問機関として発足し、B 型・C 型肝炎の調査研究に取り組んだ。

厚生労働省健康局疾病対策課は、かかる問題に積極的に即応し本会の平澤会長を主任研究員とする厚生科学特別研究事業（厚生科学研究費補助金）による研究班を編成した。

当会の危機管理委員会（委員長 吉田豊彦）はこれを受けて、分担研究者と共に協力体制を組み透析患者が災害時においてもより安心して透析が受けられるシステムとしての災害時透析医療対策を検討推進した。危機管理委員会が災害時透析医療対策部会（部会長 吉田豊彦）、感染症対策部会（部会長 秋葉 隆）および医療事故対策部会（部会長 秋沢忠男）の 3 部会で構成されているために国の要請に迅速な対応が可能であった。すでに、感染症対策部会は平成 11 年度の厚生省厚生科学特別研究事業を基に「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル」を平成 12 年度に刊行し、院内感染対策マニュアルとして利用され一般国民からも多大な関心が寄せられた。引き続いて同委員会は、「地域災害下における透析医療の実態調査と対応マニュアルの策定に関する研究—有珠山噴火における透析医療を踏まえて—」および「透析医療事故の実態調査と事故対策マニュアルの策定に関する研究」の報告作業に協力し、報告書のマニュアル化に努力している。

事業計画について

平成 13 年度の事業は、研修委員会や広報委員会等の継続事業に加えて、厚生労働省の厚生科学研究による IT 関連事業の推進を計画している。厚生科学研究費の補助を得て、透析医療関連の IT 化の研究を推進することにより、その結果として、今年度内に会員のお手元にパソコンのソフトが無料で配布される。このソフトには、透析患者の検体検査結果が吸収されて継続管理下で患者毎の異常結果を受けると、自動警報が医師に届く仕組みが取り入れられる。例えば、HCV 抗体陰性であった患者が陽転した場合には、その一覧表がプリントされる。当然、検査結果を入れ込む作業が必要となるが、検査所からの結果をフロッピーで貰い、それをパソコンに入れるだけで判断ができる仕組みである。透析医療の質の担保を確認する観点から、透析医療の施設基準について前年度に行われたアンケート集計に基づき、施設基準の策定作業が併せて継続事業として行われる。

平成 13 年 3 月には、医療費改定が想像される。医療経済委員会は、平成 13 年度の通算 4 回目に当たる

透析医療の実態調査を目的としたレセプト調査を継続し、医療費改定に際して要望書提出の貴重な資料としている。今回の医療費改定作業は困難を極めると考えている。小泉政権に代わって、聖域なき財政構造改革が打ち出され国債削減が目標とされている。2000年度の歳出は85.0兆円に対して歳入（税収）は48.7兆円であった。国債を32.6兆円発行したが、歳出における社会保障関係費は16.8兆円である。内、医療費は7.2兆円である。小泉総理は、財政再建の前に第1弾として、国債発行額を30兆円にすると主張している。更に、従来は厚生労働省の審議会が答弁して社会保障関連費が予算化されていたが、省庁再編と予算を財務省主導ではなく内閣府の経済財政諮問会議が内閣主導で予算編成を平成14年度から始めて行うと予測されるからである。本年3月30日の政府・与党社会保障改革協議会における社会保障改革大綱の医療関係部分では、報道されたごとく、「老人医療費が、経済の動向と大きく乖離しないようその伸びを抑制するための枠組みの構築」が改革の基本的考え方として据えられた。高齢者医療制度の見直しが透析医療にいかなる影響を及ぼすかが、全てといえよう。

平成12年度決算および平成13年度予算について

会員各位のお手元に配布された総会資料に記されたように、平成12年度決算および平成13年度予算が総会で承認された。10年前の平成2年度と平成12年度の収支決算を比較すると、当期収入合計で128%の収入増である。予算計上にも関連するが、収入の部での大きな相違は受取利息収入に見られる。すなわち、平成2年度の利息が1,446万円であったのに対して平成12年度は34万円にすぎなかった。一方、事業費は171%伸びていて、管理費は平成2年度の73%である。

一層の事業活動の充実と経費の節約に励むが、会員各位におかれても、会員の拡大をお願いしたい。

新役員選出について

平澤会長が稲生名誉会長と同じく70歳になられるという理由で勇退されるとのご意向を受けて、新会長に山崎親雄先生が就任された。平澤由平会長は名誉会長に就任され、山崎新会長による新執行部が承認されたが、山崎新会長は人事の刷新を中期的に行う意向があり、副会長と専務理事を留任とし、勇退された平澤会長と理事を退任される石丸理事の後任に井形昭弘先生と黒田重臣先生が新理事に就任された。総会で会員から役員案についての質問がなされたが、従来どおりにブロック推薦理事と会長推薦枠との整合を調整して役員人事案が作成された。今後の課題として、その透明性を期待されたものと考えるが、昨年の総会報告でも記したように役員を医師以外で、その半数とするようにとの行政指導を厚生労働省から強く受けており、役員の就任方は大切な問題である。

定款改正について

総会資料のごとく、定款が改定された。改定根拠は民法の改正に伴うものとKSD関連および省庁再編によるものである。句読点やてにをはを含め約90箇所の改定となった。主な改定は、厚生大臣が厚生労働大臣に変更になる部分であるが、改定の指導を期に、常任理事を7名から9名に増員した。新常任理事には、杉崎弘章先生、小野山攻先生、鈴木正司先生と廣田紀昭先生が就任されている。

顧問委嘱について

石丸隆治先生の理事ご勇退に伴い、石丸先生の当会顧問への就任が従来の顧問に加えて承認された。

別添は、登記簿謄本に添付した総会議事録である。

(文責 鈴木 満)

(社) 日本透析医会通常総会議事録

開催場所：ホテルニュー神田（千代田区神田淡路町 2-10）

開催日時：平成 13 年 5 月 20 日 午後 14 時 00 分～15 時 20 分

会員総数：1,164 名

出席会員数：875 名（うち書面出席 848 名 欠席 289 名）

通常総会を平成 13 年 5 月 20 日午後 2 時から開催した。

司会者事務局長加藤和男より、この通常総会が所定の定数を満たし有効に成立したことを報告し、会長平澤由平の挨拶の後、議長の選出について図ったところ、全会一致で、今忠正を指名し、今忠正が議長となり、挨拶の後、議長より本日の議事録署名人に、小野山攻、杉崎弘章の両名を指名し、全員の賛同を得た後、直ちに議案の審議に入った。

第 1 号議案 平成 12 年度事業報告書及び収支決算書の承認を求める件

1. 常務理事山崎親雄より平成 12 年度事業報告の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成
2. 専務理事鈴木満より平成 12 年度収支決算の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成
3. 監事大森伯より、監査報告の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成

第 2 号議案 平成 13 年度事業計画及び予算の承認を求める件

1. 常務理事吉田豊彦より事業計画の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成
2. 専務理事鈴木満より、予算の執行方針の説明をし、議長より議決を行った結果
賛成

第 3 号議案 役員の任期満了に伴う新役員の承認を求める件

専務理事鈴木満より役員の任期満了に伴う新役員の改選について説明をし、議長より議決を行った結果
賛成

第 4 号議案 定款の変更の承認を求める件

事務局長加藤和男より定款の変更について各条文ごとの説明をし、議長より各条文ごとの議決を行った結果

1. 第 2 条第 2 項の従たる事務所の設置に関する事項
賛成
2. 第 4 条第 6 号の事業に関する事項
賛成
3. 第 6 条第 1 項及び第 2 項の会員の入会に関する事項
賛成
4. 第 8 条第 1 項第 2 号、第 3 号、第 4 号及び第 5 号の会員の資格の喪失に関する事項

賛 成

5. 第9条の会員の退会に関する事項

賛 成

6. 第10条の会員の除名に関する事項

賛 成

7. 第12条第2項の役員の種類及び定数に関する事項

賛 成

8. 第13条第2項, 第3項, 第6項及び第7項の役員の選任等に関する事項

賛 成

9. 第14条第1項, 第2項, 第5項及び第6項第1号, 第2号, 第3号及び第4号の役員の職務に関する事項

賛 成

10. 第15条第3項の役員の任期に関する事項

賛 成

11. 第16条の役員の解任に関する事項

賛 成

12. 第17条第1項及び第3項の役員の報酬等に関する事項

賛 成

13. 第19条の総会の構成に関する事項

賛 成

14. 第20条及び第1号から第4号の総会権能に関する事項

賛 成

15. 第21条第1項, 第2項第2号及び第3号の総会開催に関する事項

賛 成

16. 第22条第2項及び第3項の総会招集に関する事項

賛 成

17. 第24条の総会定足数に関する事項

賛 成

18. 第27条第1項第3号及び第2項の総会議事録に関する事項

賛 成

19. 第29条の理事会権能に関する事項

賛 成

20. 第31条第1項及び第2項の理事会招集に関する事項

賛 成

21. 第33条の理事会定足数等に関する事項

賛 成

22. 第33条の2第1項の常任理事定足数等に関する事項

賛 成

23. 第34条第4項及び第5項の名誉会長及び顧問に関する事項

賛 成

24. 第36条の財産の管理に関する事項

賛 成

25. 第 38 条の事業計画及び予算に関する事項
賛 成
26. 第 40 条の事業報告及び決算に関する事項
賛 成
27. 第 41 条の長期借入金に関する事項
賛 成
28. 第 43 条第 4 項の事務局の設置等に関する事項
賛 成
29. 第 44 条第 1 項第 2 号及び第 6 号の備付け帳簿及び書類に関する事項
賛 成
30. 第 45 条の定款の変更に関する事項
賛 成
31. 第 46 条の本会の解散に関する事項
賛 成
32. 第 47 条の残余財産の処分に関する事項
賛 成
33. 第 48 条の委任に関する事項
賛 成
34. 附則に関する事項
賛 成

以上を以て通常総会の議事全部の審議を終了したので議長は、閉会を宣して解散した。時に 15 時 40 分であった。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において次に記名、捺印をする。

平成 13 年 5 月 20 日

社団法人日本透析医会通常総会において

議 長

議事録署名人

同

(社) 日本透析医会 役員名簿

役 職 名	氏 名	現 職
会 長	山 崎 親 雄	医療法人衆済会増子記念病院付属則武診療所 所長
副 会 長	今 忠 正	医療法人社団札幌北クリニック 院長
	飯 田 喜 俊	淀川キリスト教病院 教育顧問
専務理事	鈴 木 満	医療法人財団松園会 理事長 (東葛クリニック病院)
常務理事	吉 田 豊 彦	医療法人社団誠仁会 理事長 (みはま病院)
	杉 崎 弘 章	医療法人社団心施会 理事長 (府中腎クリニック)
	小野山 攻	医療法人小野山診療所 理事長
	鈴 木 正 司	社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院 内科部長
	廣 田 紀 昭	廣田医院 院長
理 事	井 形 昭 弘	医療保健福祉審議会老人保健福祉部 会長
	太 田 和 夫	太田医学研究所 所長
	山 下 眞 臣	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長
	小 出 桂 三	社会保険都南病院 名誉院長
	前 田 憲 志	名古屋大学大幸医療センター 教授
	藤 見 惺	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 院長
	松 田 鈴 夫	国際医療福祉大学 教授
	秋 澤 忠 男	和歌山県立医科大学血液浄化センター 教授
(東 北)	関 野 宏	医療法人宏人会 理事長 (医療法人宏人会中央病院)
(東 北)	村 上 秀 一	医療法人三良会村上新町病院 院長
(関 東)	黒 田 重 臣	国立東静病院 院長
(関 東)	秋 葉 隆	東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化部門 教授
(甲信越)	土 屋 隆	医療法人輝山会 理事長 (輝山会記念病院)
(中 部)	指 出 昌 秀	医療法人一秀会 理事長 (指出泌尿器科)
(関 西)	後 藤 武 男	高砂市民病院 名誉院長
(関 西)	小 野 利 彦	医療法人桃仁会 理事長 (医療法人桃仁会病院)
(中 国)	土 谷 晋 一 郎	医療法人あかね会 理事長 (土谷総合病院)
(中 国)	原 田 知	医療法人社団一陽会原田病院 院長
(四 国)	寺 尾 尚 民	医療法人尚腎会 理事長 (高知高須病院)
(九 州)	後 藤 宏 一 郎	医療法人後藤クリニック 院長
(九 州)	工 藤 寛 昭	工藤医院 院長
監 事 (甲信越)	大 森 伯	大森内科医院 院長
	岩 月 史 郎	弁護士
	伊 原 美 好	公認会計士
名誉会長	稲 生 綱 政	医療法人大坪会東和病院 院長
	平 澤 由 平	社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院 顧問